

県内初！小学校＋地域の連携で国土交通大臣賞を受賞！

横浜市立千秀小学校と田谷の洞窟保存実行委員会の取り組みが、一般社団法人地理情報システム学会が主催する、2019 年度「初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰」において「国土交通大臣賞：総合的な視点」を受賞しました。

ポイント 1 小学 6 年生に地域住民や大学研究者が講師となって洞窟の保存活動を題材とした授業を実施する「人づくり ー小大連携プロジェクトー」が、国土交通省、文部科学省から構成する審査委員会で高く評価され受賞

ポイント 2 区長が祝意を子どもたちに伝えるために学校を訪問し、授業で作成した大型地形模型や洞窟断面模型を囲みながら交流

<田谷の洞窟について>

横浜市栄区田谷町にあります。「田谷の洞窟」は通称であり、正しくは「田谷山瑜伽洞」として横浜市登録史跡に指定されています。全長 570 メートルの素掘りトンネル内部は三層構造となっており、ドーム状の部屋が複雑に配置されています。洞内に約 300 の浮き彫りレリーフが施されていることも特徴です。



<田谷の洞窟保存実行委員会について>

地域住民、大学研究者等から構成される団体です。田谷の洞窟をデジタルデータ化し、データの利活用を検討し、地域と共生させることを主な目的に活動しています。



写真提供：田谷の洞窟保存実行委員会
ホームページ

<https://www.tayacave.com/>

<千秀小学校の取組内容について>

2017 年度 巨大地形模型製作
(縮尺 1,000 分の 1)



2018 年度 洞窟輪切り断面模型製作
(縮尺 50 分の 1)



写真提供：田谷の洞窟保存実行委員会

<栄区長による祝意訪問について>

日 時：10月29日（火）16時00分から16時30分まで

場 所：横浜市立千秀小学校すこやかルームにて（横浜市栄区田谷町1832）

出席者：千秀小学校6年生及び平成29・30年度卒業生の皆さん、田谷の洞窟保存実行委員会実行委員長 田村裕彦氏、横浜国立大学都市イノベーション研究院准教授 守田正志氏、千秀小学校校長 富田操氏、栄区長 星崎雅代ほか関係職員

取材を希望される場合は10月28日（月）までにご連絡のうえ、直接現地までお越しく下さい。
※当日は校内に入られる前にインターホンにて職員室までお声かけをお願いします。

<初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰について>

一般社団法人 地理情報システム学会は、地理情報システムに関わる、あらゆる理論的・応用的研究を行い、議論し、発展させてゆくことを目的とした学会です。同学会では、初等中等教育現場においてGIS（地理情報システム）を実践的に活用した授業の普及・展開の契機とするため、授業において先進的な取り組みを実践している教員やグループを対象とする表彰制度を2010年度に創設しています。

今回の受賞にあたり、10月19日（土）に徳島大学にて実施された表彰式に、田谷の洞窟保存実行委員会の田村委員長と東京大学の小倉拓郎氏（Phd）が出席しました。

- ・2019年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」募集要領、過去の受賞者

<https://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

- ・2019年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」選定結果について

http://www.gisa-japan.org/news/file/2019_result-2.pdf

お問合せ先

栄区区政推進課長

永松 弘至

Tel 045-894-8330

栄区子ども家庭支援課学校連携・こども担当課長

大谷地 久美子

Tel 045-894-8409